札幌市気候変動対策行動計画の進行管理について（１）

令和８年（2026年）10月27日
第13次札幌市環境審議会 第４回会議

資料 ６

1 市内の温室効果ガス排出量の推移と内訳

〇市内で排出された2024年度の温室効果ガス総排出量は966万t-CO_2であり、前年度の1,006万t-CO_2と比べ4.0%(40万t-CO_2)減少している。
〇計画の基準年である2016年度比19%(227万t-CO_2)減となっており、2030年目標の達成まで2024年比44%（429万t-CO_2)の削減が必要（図１）
〇家庭・業務・運輸の３部門で市内CO_2排出量の約９割を占めており、前年度と比較すると業務で16万t-CO_2減、家庭で12万t-CO_2減、運輸・産業それぞれで４万t-CO_2減（図２、３）

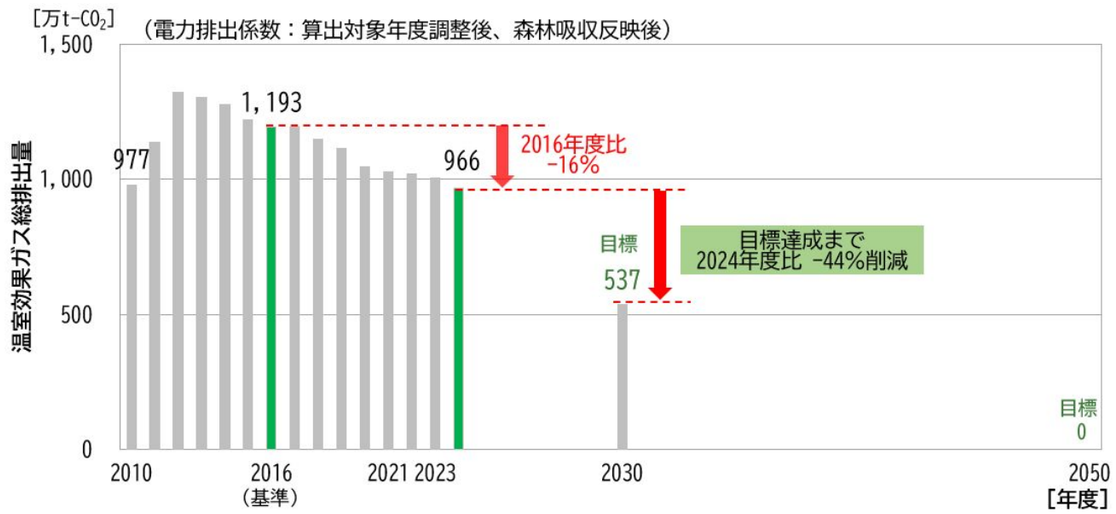


図１ 市内の温室効果ガス総排出量の推移

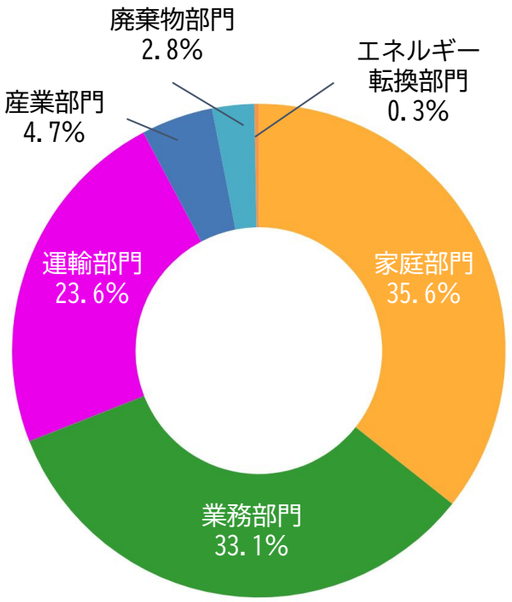


図２ 市内の二酸化炭素排出量の部門別内訳
（2024年）

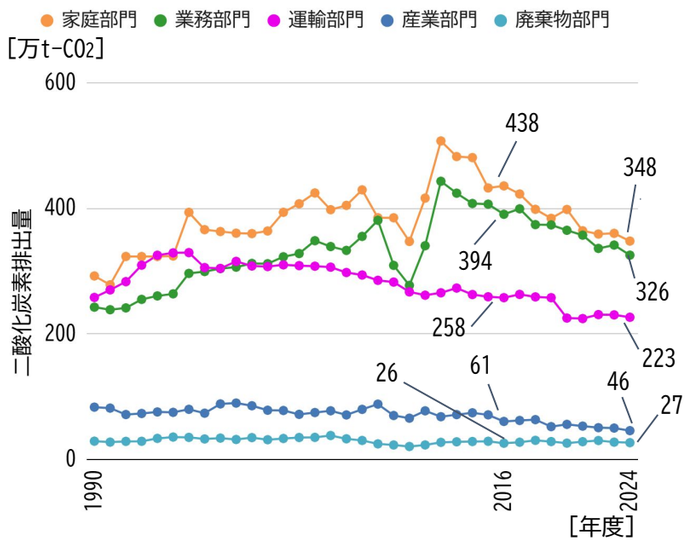
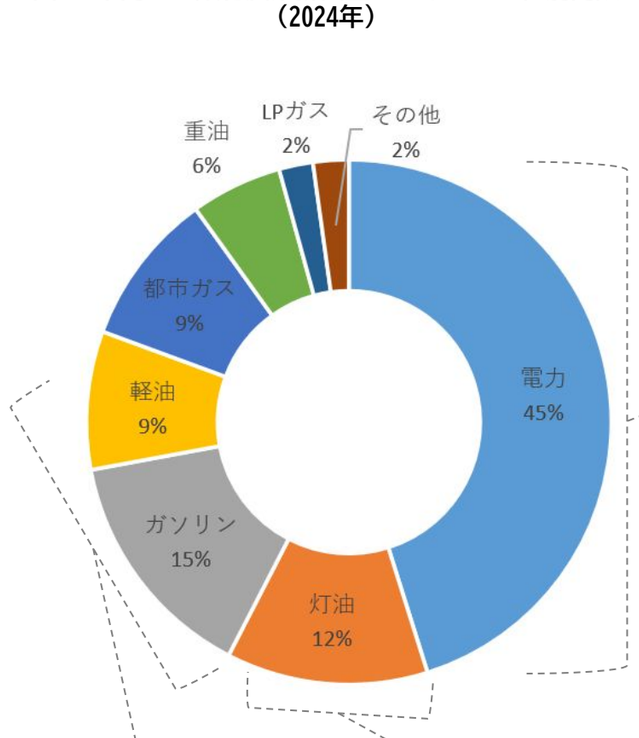


図３ 市内の二酸化炭素排出量の主な部門別推移

【電力由来二酸化炭素排出量】家庭部門が41%、業務部門が50%（図５）
【ガソリン及び軽油由来二酸化炭素排出量】運輸部門が97%（図６）
【灯油由来二酸化炭素排出量】家庭部門が94% （図７）

図４ 市内の二酸化炭素排出量のエネルギー種別内訳
（2024年）



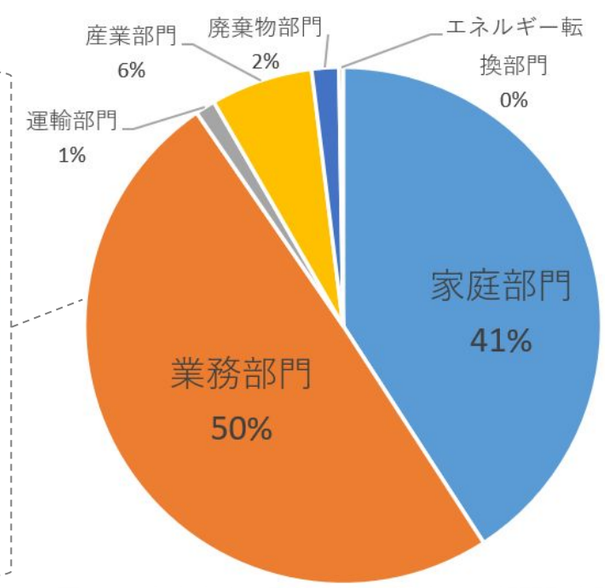


図５ 電力由来の二酸化炭素量排出量の部門別内訳
（2024年度）

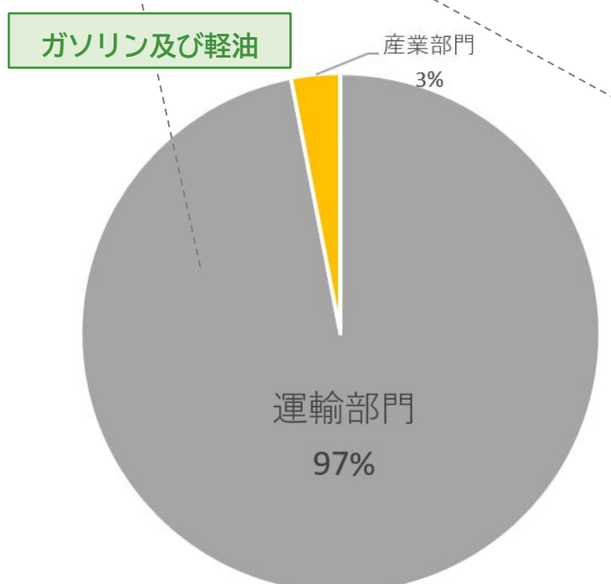


図６ ガソリン及び軽油由来の
二酸化炭素量排出量の部門別内訳
（2024年度）

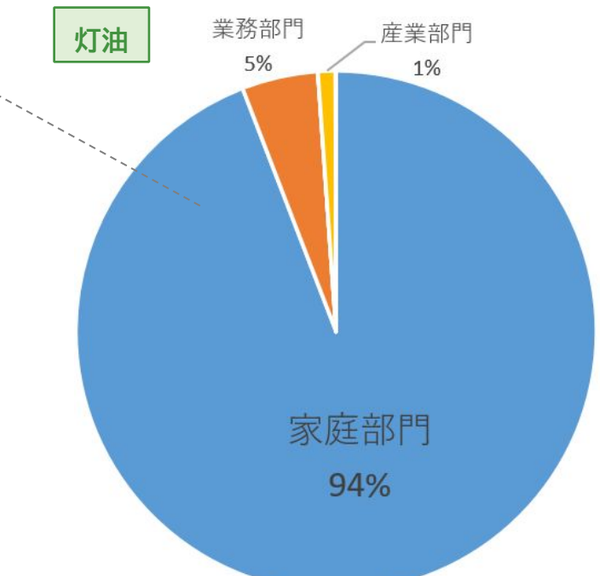


図７ 灯油由来の二酸化炭素量排出量の部門別内訳
（2024年度）

札幌市気候変動対策行動計画の進行管理について（２）

令和８年（2026年）10月27日
第13次札幌市環境審議会 第４回会議
資料 6

2 市役所の温室効果ガス排出量の推移と内訳

○市役所で排出された2024年度の温室効果ガス総排出量は61.4万t-CO_2と、前年度の63.5万t-CO_2と比べ3.3%（2.1万t-CO2）減少している
○計画の基準年である2016年度比15%(11.2万t-CO_2)減となっており、2030年目標の達成まで2024年比52%（32.2万t-CO_2）の削減が必要（図８）
○学校・市民利用施設・庁舎等で３割、上下水道・交通・道路や廃棄物処理施設等のインフラで約６割（図９）
○エネルギー種別内訳では、電力が５割を占めている（図10）

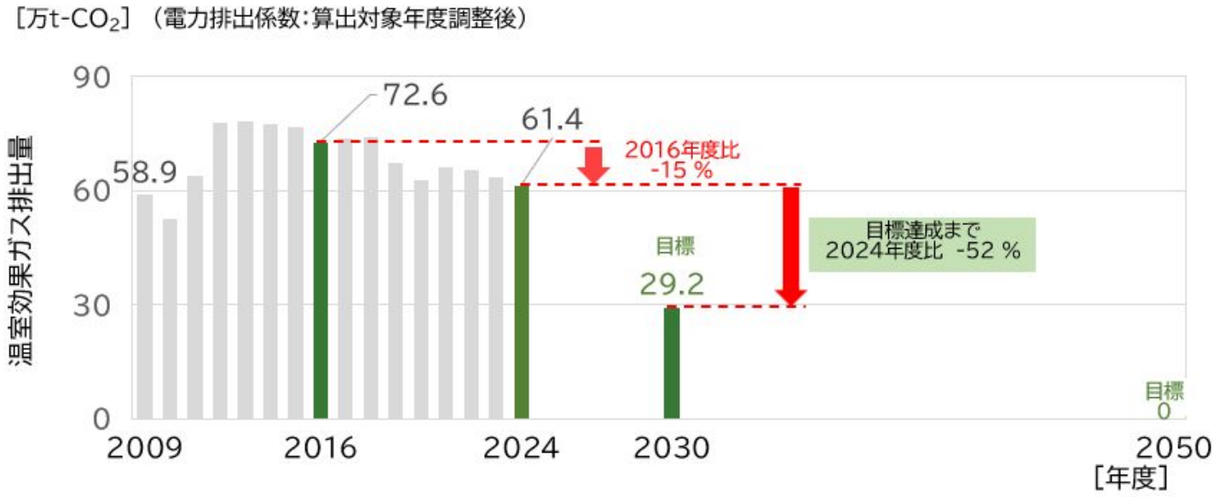


図８ 市役所の温室効果ガス総排出量の推移

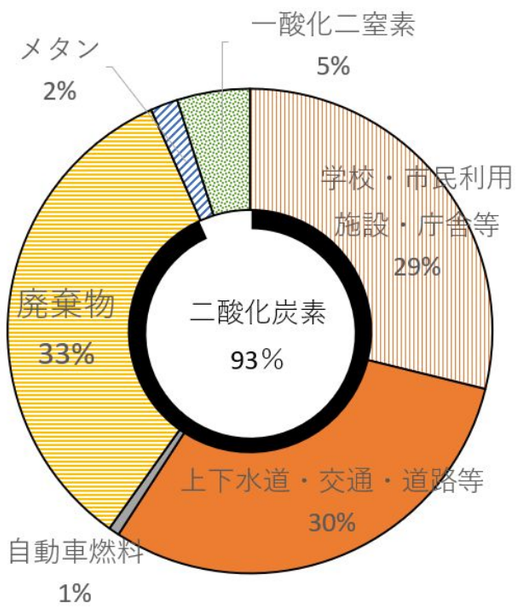


図９ 市役所の温室効果ガス排出量の用途別内訳（2024年）

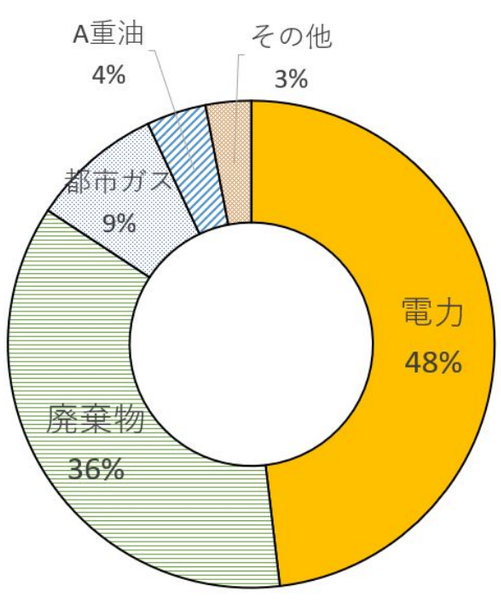


図10 市役所の二酸化炭素排出量のエネルギー種別内訳（2024年）

3 成果指標の進捗状況

表１ 成果指標（市民・事業者編）の進捗一覧（2024年度）

施策	成果指標	2016年（基準）	2024年	2030年（目標）
［省エネ］徹底した省エネルギー対策	ZEH相当以上の省エネ性能を持つ新築住宅の割合	戸建:54% 集合:－%	戸建:97% 集合: 5%	戸建:80% 集合:80%
	電気・ガスをエネルギー源とする暖房機器の割合	33%	41%	80%
	電気・ガスをエネルギー源とする給湯機器の割合	60%	63%	73%
	LED照明の割合	30%	53%	100%
	ZEB相当以上の省エネ性能を持つ新築建築物の割合	－%※	5%	80%
［再エネ］再生可能エネルギーの導入拡大	市内の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合	24%	28%	50%
［移動］移動の脱炭素化	市内の自動車保有台数に占める次世代自動車の割合	10%	28%	60%
［資源］資源循環・吸収源対策	市内ごみ焼却量	43.8万t	43.4万t	39.2万t
	間伐等の森林整備を実施した森林の面積	650ha	1,779ha	1,100ha

表２ 成果指標（市役所編）の進捗一覧（2024年度）

施策	成果指標	2016年（基準）	2024年	2030年（目標）
［省エネ］徹底した省エネルギー対策	ZEB相当以上の省エネ性能を持つ新築・改築建築物の割合	※ －%	75%	80%以上
［再エネ］再生可能エネルギーの導入拡大	市有施設の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合	29%	37%	80%
［移動］移動の脱炭素化	公有車台数に占める次世代自動車の割合	13%	35%	63%
［資源］資源循環・吸収源対策	市内ごみ焼却量	43.8万t	43.4万t	39.2万t

※ 過年度における実績値を把握していないものを「－」と表記

札幌市気候変動対策行動計画の進行管理について（３）

令和８年（2026年）10月27日
第13次札幌市環境審議会 第４回会議
資料 6

4 主な取組の実施状況

表３ 主な取組の実施状況（2025年度）

施策	2025年度の実施状況（緩和策）	
	市民・事業者編	市役所編
省エネ	■ZEH・ZEBの推進 ✔ 「ZEB・ZEH-M設計支援補助金制度」による建築主への補助を実施【補助実績】７件（計画20件） ✔ 「札幌版次世代住宅基準」に適合する住宅の認定及び建設費の補助を実施【補助実績】35件（計画45件） ✔ 「エネルギー源転換補助金制度」による補助を実施【補助実績】64件（計画40件）	■市有施設・設備の省エネ化 ✔ 市有施設における新築・改築についてはZEB化を推進する体制を構築し、運用を開始 ✔ 水道局本局庁舎の設備改修工事におけるBELS認証（ZEB Ready）を取得 ■設備機器の効果的な運用 ✔ 札幌市環境マネージメントシステムに基づき、各施設のエネルギー使用状況について詳細な分析を実施
再エネ	■建築物等への再生可能エネルギー導入の推進 ✔ 「自家消費型太陽光発電設備導入補助金制度」により、太陽光発電設備や定置用蓄電池を導入する企業等への補助を実施【補助実績】８件（計画20件） ■地域への再生可能エネルギー導入の推進 ✔ 旧中央体育館跡地（中央区大通東５丁目）に大型車に対応した定置式水素ステーションの営業が開始され、集客交流施設の事業予定者による設計を実施 ✔ 熱供給事業者において、カーボン・オフセット都市ガス由来の熱供給の導入拡大に向けた検討を実施	■事業者による再エネ導入 ✔ 市有施設での次世代型太陽電池に係る事業者との実証実験（継続中） ■都心部への再エネ導入 ✔ 札幌市３清掃工場で発電された電力を地下鉄３路線へ供給し、地下鉄３路線で消費する電力の100%が脱炭素化 ■市有施設「RE100化モデル事業」の検討 ✔ 市役所本庁舎、札幌駅前通地下歩行空間、中央区複合庁舎に加え、円山動物園を再エネ100%電力に切替
移動	■ゼロエミッション自動車の普及推進 ✔ 「札幌市ゼロエミッション自動車購入等補助制度」による電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）、V2H充電設備等の導入補助を実施 【補助実績】EV:80台（計画262件）、FCV：2台（計画5台）、V2H充電設備:12件（計画50件）	■公用車の次世代自動車への切替 ✔ 「公用車の次世代自動車導入指針」に基づき、公用車導入時の事前協議を実施し、次世代自動車への切替を促進
資源	■省資源・資源循環の推進 ✔ 生ごみ堆肥化セミナー及び講師派遣を実施し、1,000名以上の方が参加 ■森林等の保全・創出・活用の推進 ✔ 私有林における間伐等の森林整備を支援するため補助事業を実施【補助実績】間伐約11ha、作業道約2,300m（計画 約11ha、作業道約3,600m）	■環境マネジメントシステム ✔ 市役所内の廃棄物の発生・排出を抑制し、省資源・資源循環を推進 ■道産木材の利用 ✔ 札幌市立八軒小学校のリニューアル改修工事や、厚別立学校を始めとする小中学校の改修工事において道産木材を利用（計４施設）
行動	■ライフスタイルの変革・技術革新 ✔ 気候変動をはじめとする社会課題について対話したり、専門家からの学びを得るワークショップを開催 ✔ 「ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業」により、技術・製品開発の取組に対する支援を実施 【支援実績】１件（計画１件）	■環境マネジメントシステム ✔ 「札幌市グリーン購入ガイドライン」「札幌市公共工事環境配慮ガイドライン」などに基づき、環境負荷の少ない製品やサービスの利用を推進

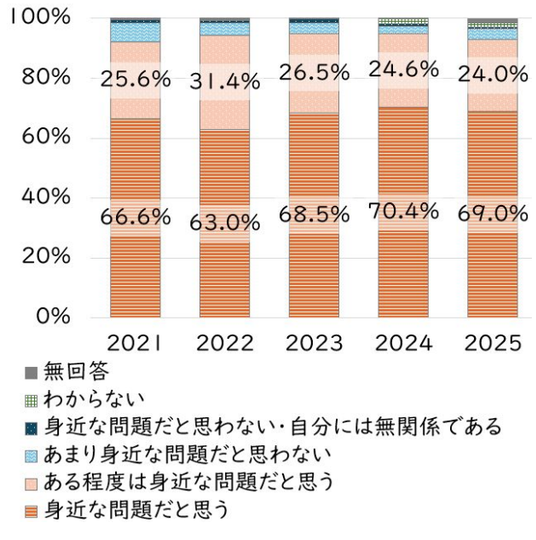
分野	2025年度の実施状況（適応策）
自然災害	■水害対策 ✔ 国交省「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」活用を支援し、民間地におけるグリーンインフラ施設の整備を実施 ✔ 浸水対策に関する出前講座などを活用し、札幌市浸水ハザードマップの普及啓発を実施
健康	■熱中症対策 ✔ 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を市有施設、民間施設合わせ205施設指定・供用開始 ✔ 普通教室等への常設エアコンの整備を行いました（112校/292校）
自然生態系	■生物多様性保全の普及啓発 ✔ ホームページやSNSでの広報に加え、円山動物園と共催のウェビナー等様々な普及啓発を実施

5 市民アンケート結果抜粋

●調査対象：住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民3,000人
●調査期間：令和８年１月７日から令和８年２月６日
●有効回答数：1,127人（回答率37.6%）

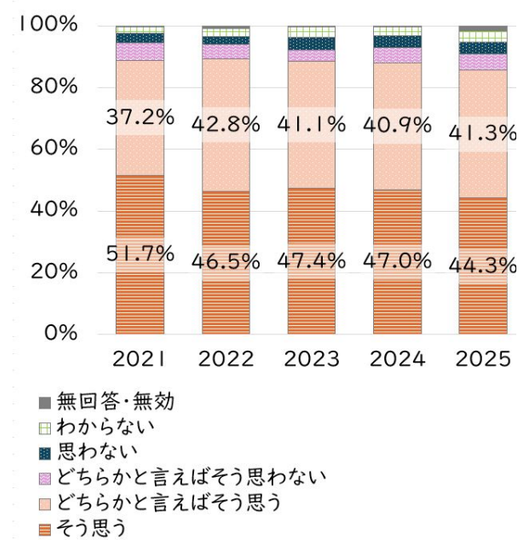
問 あなたは「地球温暖化による気候変動」を身近な問題だと思っていますか。

➡「身近な問題である」「ある程度は身近である」をあわせるとが９割以上



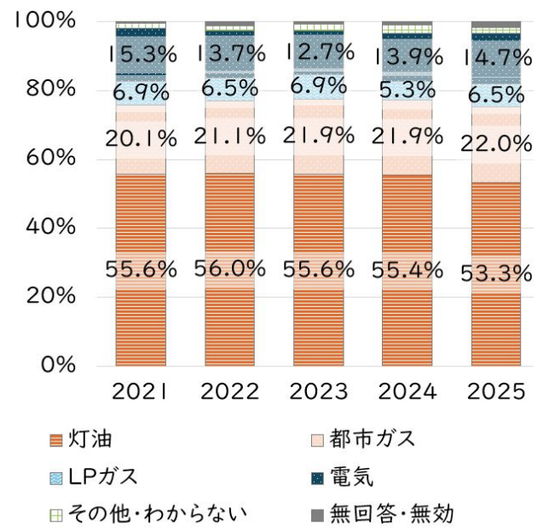
問 温暖化や気候変動の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか。

➡「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」をあわせると９割弱



問 あなたの家庭では暖房にどのようなエネルギー・燃料を使用していますか。

➡「灯油」が５割以上



問 あなたの家庭での生活はエコライフ（環境にやさしい生活）だと思いますか。

➡「エコライフだと思う」「どちらかというとエコライフだと思う」をあわせると５割以上

